

令和8年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行計画書(過疎・中山間地域活性化枠・集落等活性化事業)

(単位:千円)

番号	新規・継続	共通採択方針			事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額 (案)	事業概要	実施時期	実施場所 (市町村及び場所)	備考
		重点		個別 テーマ									
		人口 減少 対策	過 疎 中										
(県北地方振興局)													
1	新規		○	人づくり	祝 県政150周年 平和祈念コンサート	立子山地区自治振興協議会	ソフト	410	300	地区の人口減少が深刻な中、県政150周年を機に朝河太鼓など地区で親しみの深い音楽を切り口としてコンサートを実施し、地域住民を始め、演奏する学生等と交流する機会を設け、地域の活力の発信と交流・関係人口の創出に取り組む。 また、コンサートにおいて福島県や地区の偉人である朝河貫一氏の歴史に触れる機会を設け来場者に併せて発信を行う。 ①平和祈念コンサート(※)の実施 ②県政150年の歴史、地区の偉人である朝河貫一博士の功績のパネルによる紹介 ※福島大学の学生等に演奏を依頼することで県や地域の歴史や文化に触れてもらう機会とする。	R8.4.1～R9.1.31	福島市(旧立子山村)	
2	新規		○	人づくり	竹・農・地再生プロジェクト	竹ノ内・赤土地区協議会	ソフト・ハード	1,145	1,110	人口減少や高齢化に伴って地区の担い手が少なくなり、土地の荒廃も進んでいる状況を受け、令和7年度に策定した集落の再生計画に基づき、大学生と連携し、空き家の活用・竹等地域の資源を活用した地域の活性化に取り組む。 ①竹の伐採・加工(竹炭や竹ベンチ等の製作) ②空き家改修ワークショップ(DIY形式) ③空き家利活用に向けたソフト事業(障子の張り替え等) ④フットパス(※)整備・マップづくり ※森林や田園地帯、古い街並みなど地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くこと(Foot)ができる小道(こみち:Path)のこと	R8.4.1～R9.3.31	二本松市(旧東和町)	
3	継続 3		○	交流・関係人口	大波DIYプロジェクト～活用編～	大波会	ソフト	1,646	1,316	人口減少と高齢化が著しく進んでいる大波地区において、地域住民が自ら創り上げた交流拠点を活用し、地域課題の解決に向けた取組を実施するとともに、地域の魅力を体験する機会を設け、地域への愛着心の醸成を図る。 ①交流拠点の活用・周知 ②地域の食や技術のPR(大波マルシェ) ③子ども達への伝統継承・郷土愛醸成 ④先進地視察(奥会津地域づくり協議会)	R8.4.1～R9.3.31	福島市(旧小国村)	
4	継続 3		○	交流・関係人口	多様な価値を育む棚田と都市をつなぐ体験交流プロジェクト	布沢集落	ソフト・ハード	1,312	1,040	令和3年に「国のつなぐ棚田遺産」に認定された布沢の棚田を活用し、地元の小学校や県内外の大学、首都圏の団体と連携して、生き物観察会や農業体験等のイベントを開催し、若い世代に対し棚田の多様性を発信するとともに、ふるさとの誇りを取り戻す。 ①生き物観察会・ホテル観察会の実施 ②粘土ワークショップ・かまどづくりワークショップを通じた地域間交流の実施 ③棚田の芸術祭「食と農とかまど文化の祭典」の実施	R8.4.1～R9.2.28	二本松市(旧東和町)	
累計					(県北地方振興局)	4件		4,513	3,766				